

ものづくり支援研究会

全2回開催

主催者：名古屋工業大学

協力：名城大学

第1回 LEDの今と明日のLED

現在、あらゆる照明、電光表示がLEDとなっています。当初、LED照明の謳い文句は長寿命化であったが、今や低価格競争となっており、品質に影響を与える事態になっています。

そこで、LEDの今を一度振り返り、現状を知り、品質確保に目を向けるとともに、今後ますます普及するであろうLEDのその後、明日のLEDの姿を探求したい思いから、今回研究会を全2回、開催することと致しました。

この研究会では、中小企業の方々へ今からのLED事業への参入、今後LEDがもたらす新規商品の創造の場を提供したいと考えています。多くの興味ある企業の方々のご参加をお待ちしています。

テーマ：「LEDの今と明日のLED」

- ・開催日時：平成28年12月22日(木)
13:30～15:50
- ・開催場所：名古屋工業大学 4号館 1階ホール
名古屋市昭和区御器所町字木市29番
- ・定員：200名(先着順)
- ・参加費：無料(第1回及び第2回いずれも)



〔プログラム〕

13:30～13:35 主催者挨拶 名古屋工業大学 産学官連携センター 矢野 卓真 准教授

13:35～14:35 「光を操るLED照明のツボ」

特定非営利活動法人LED照明推進協議会 JLEDS技術委員 佐野 武志 氏

近年、身の回りにも広く普及してきたLED照明。高効率で長寿命と言われるが、使い方によっては必ずしもその特長を生かしきれない場合がある。

本講では初心者を対象に、性能の現状、LEDチップをはじめとする各構成部材とそれらを組合せた構造の概要、評価項目、使用上の注意点など、LED照明の基礎について解説する。

14:35～14:50 休憩

14:50～15:50 「LEDの通信への応用 ―可視光通信技術―」

名城大学理工学部 情報工学科 旭 健作 准教授

発光ダイオード(LED)は、低消費電力・長寿命だけでなく、半導体素子であるため高速応答が可能であり、実応用の1つとして可視光通信への活用が検討されています。

LEDを光源とした可視光通信について、事例や研究中の事例などを紹介し、併せてデモを通して可視光通信を体験して頂く予定です。

申込方法

裏面の「参加申込書」から申し込みください。

◆ 申込方法 : 下記申込書にご記入の上、12月20(火)までにFAX又はメール(sangaku@ccmails.meijo-u.ac.jp)にてお申込み下さい。

◆ お問い合わせ先 : 名城大学 学術研究支援センター 担当: 古林/河合/松吉
TEL (052)838-2036

ものづくり支援研究会 第1回「LEDの今と明日のLED」 参加申込書

FAX (052)833-7200

(名城大学 学術研究支援センター 産官学連携グループ行 担当: 古林/河合/松吉)

ふりがな		
会社名		
所在地		
ふりがな		
所属・氏名		
連絡先	TEL	FAX
	メールアドレス	

※ ご記入いただいた個人情報は、当研究会からの各種連絡・情報提供のために利用させていただきます。

※ 受講票は発行いたしません。直接会場にお越し下さい。

ものづくり支援研究会

第2回「LEDの未来！」(仮題)

平成29年1月23日(月)開催予定

場所 名古屋工業大学 4号館 1階ホール

内容 ・CES2017(世界最大の国際家電見本市)の視察報告

・LED照明の特許分析

・住宅におけるLED照明の応用(調整中)

[関連セミナー]

窒化物等次世代半導体実用化情報提供セミナー

<http://tic.web.nitech.ac.jp/>

平成28年12月13日(火)開催

場所 名古屋工業大学 4号館 1階ホール

テーマ「地域のオンリーワン技術を集結し、ものづくり企業が次世代半導体社会を創る！」